



農林水産省登録
第19758号

芝生用薬剤

除草剤

芝生用除草剤

イデトップ®

フロアブル

イネ科雑草にも
ヤハズソウなどの
広葉雑草の防除にも
効果抜群!

特長



① 優れた除草効果

一年生イネ科雑草はもちろんのこと、ヤハズソウやコニシキソウなどの一年生広葉雑草にも優れた除草効果を発揮します。

② 長い抑草期間

春処理で90～120日程度、秋処理で120～150日程度の効果の持続性が確認されています。

③ 芝生に対する安全性

完成した日本芝に対し、薬害もなく安全です。

®は出光興産(株)の登録商標



株式会社 二チノ一緑化

芝生用除草剤

イデトップ[®]
フロアブル

成分・性状

種類名：トリアジフラム水和剤
有効成分：トリアジフラム ……30.0%
性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

安全性

〔毒性区分〕 普通物	急性経口毒性 (LD ₅₀)	急性経皮毒性 (LD ₅₀)
	ラット、マウス♂♀ >5000mg/kg	ラット♂♀ >2000mg/kg
〔魚毒性〕 B類相当	コイ	ミジンコ
	原体TLm (48hr) 3.27ppm 製剤TLm (48hr) 11.2ppm	原体LC ₅₀ (3hr) > 30ppm 製剤LC ₅₀ (3hr) > 100ppm

使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	m ² 当り使用量		総使用回数*	使用方法
			薬量	希釈水量		
日本芝	一年生雑草	芝生育期 (雑草発生前 但し、 秋期スズメノカタビラは3葉期まで)	0.075~0.15 ml	200~300 ml	2回以内	全面土壌散布

*印は本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数を示す。

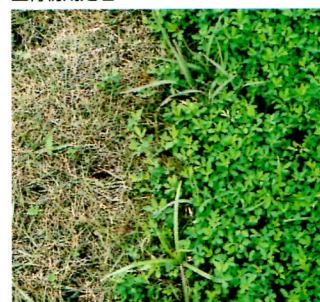
殺草スペクトラム

雑草名	雑草発生前処理		雑草名	雑草発生初期処理	
	薬量 0.1mg/m ²	薬量 0.1mg/m ²		薬量 0.1mg/m ²	薬量 0.1mg/m ²
イネ科	メシバ	●	ナデシコ科	オランダミナグサ	●
	アキメシバ	●		ツメクサ	◎
	エノコログサ	●	ハコベ	◎	
	スズメノカタビラ	●	スベリヒユ科	スベリヒユ	◎
トウダイグサ科	コニシキソウ	●	アブラナ科	ナズナ	●
マメ科	ヤハズソウ	●	キク科	オオアレチノギク	○~△
	カラスノエンドウ	●		ハルジオン	○~△
	クロバー	◎		ノボロギク	○~△
ゴマノハグサ科	タチイヌノフグリ	●	カヤツリグサ科	ハマズゲ	×
	オオイヌノフグリ	●		ヒメクグ	×

日植調委託試験・社内試験より作成 ●：極大 ◎：大 ○：中 △：小 ×：無

ヤハズソウに対する効果

イデトップフロアブル 0.1 ml/m² 処理
生育初期処理



処理区

無処理区

効果・薬害等の注意

- 使用前に容器をよく振ってください。
- 発芽後の生育が進んだ雑草に対しては効果が劣るので、雑草の発生前 (秋期スズメノカタビラは3葉期まで) に時期を失ないように散布してください。
- 洋芝に使用すると薬害を生じる恐れがあるので、使用しないでください。
- 芝張後一年以内の芝、ターフ形成の不十分な芝、又は老朽化した芝で根付きのよくないところでは薬害を生じる恐れがあるので使用しないでください。
- 土壌が極度に乾燥している場合には、事前に散水するか、又は散布水量を多めにしてください。
- 周辺の植物にかかると薬害を生じるので、散布の際は芝生の中や付近にある草花、花木、畑作物に薬液がかからないように散布してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

安全使用上の注意

- 眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。(弱い刺激性)
- 魚毒性：通常の使用方法では問題ありません。
- 保管：直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

● 使用前にラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
● 使用後の空ボトルは圃場などに放置せず、廃棄物処理業者に委託する等により適切に処理してください。

取扱店

GP 株式会社 二チノ一緑化
green technology

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-4 岡谷ビルディング6F
TEL (03) 3808-2281 FAX (03) 3808-2360
大阪営業所 TEL (072) 727-8015
ホームページアドレス <http://www.nichino-ryokka.co.jp>